

平成 29 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	救援ボランティア左京
活動テーマ	災害時に活動できる人材育成



- ・被災時に医療従事者(介護を含む)や行政が参加した「左京区地域ケア一連絡協議会」だけでは地域の医療介護等を維持出来ない為、被災時の犠牲者の軽減を図るには、一般市民の協力が不可欠でその必要性をせまられた。
- ・被災時に必要な知識(医療介護に止まらない)を身に着ける講習を実施し、継続的な受講で被災時の対応能力を維持する事である。

活動方法は、月1度の講習会実施(写真左上)と他の団体での救護班を兼ねた参加、その他に郊外研修会と年度末に実施する講習会で習得した技能を、被災した前提で実施する総合演習等。

講習内容は応急手当を中心に、「こんなところに心理学」「備える歴史学」を実施し、総合演習ではトリアージ等と現実の病院での対応・E ディフェンス振動台実験の映像を観た後に、「クロスロードゲーム」を実施し被災の疑似体験を実施。救護班では血圧の観察時実習等(写真右上・左下)、郊外研修では「土砂災害の痕跡を訪ねて」(写真右下)と称し被災現場を訪ねた。

それぞれに一般公募も募り、新規に参加したいの方が1人会員入会、土砂災害痕跡地の調査では登山道で知り合った方が「左京区久多での除雪作業・スノーバスターズ」に参加したい等、僅かですが活動することにより人的交流から関心を持ってもらえる方と出会えた。